

2 文の組み立て (1)

名前

年 組 番

100点

1 〔主語・述語〕 次の文の主語と述語を抜き出し、省略されている場合は×を書きなさい。 4点×10

① 空を流れる雲が、とても大きい。

主語

述語

② だれもその部屋にはいなかった。

主語

述語

③ 一位になったのは、ぼくの弟です。

主語

述語

④ うれしい話に大きくうなずいた。

主語

述語

⑤ もうすぐ来るよ、私たちのバスは。

主語

述語

2 〔修飾語〕 — 線を修飾する文節（修飾語）を抜き出し、連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと書きなさい。 3点×8

① 学校に新しい体育館が建てられた。

修飾語

種類

② さつと涼しい風が吹き渡った。

修飾語

種類

③ とてもめずらしい犬を見た。

修飾語

種類

④ たいへん質素に暮らす家族がいた。

修飾語

種類

3 〔接続語〕 次の文から接続語を抜き出しなさい。 4点×3

① 兄は読書家で、また、運動も得意だ。

② ペンあるいはノートを用意しなさい。

③ 疲れたので、少しだけ休んだ。

4 〔独立語〕 — 線の独立語の働きを、あとから選びなさい。 3点×4

① きみ、家に帰りますか。

② 平和、私たちはこれを願う。

③ ああ、とてもきれいな花だ。

④ はい、私も行きます。

ア 感動 イ 呼びかけ

ウ 応答 エ 提示

5 〔文の組み立て〕 次の文について、あとの問いに答えなさい。 3点×4

雨なので、私たちのクラスは、体育館でバスケットボールを楽しんだ。

(1) 主語と述語を抜き出しなさい。

主語

述語

(2) 連体修飾語を一つ、抜き出しなさい。

(3) 接続語を一つ、抜き出しなさい。

2 文の組み立て (1)

解答

- | | | |
|-----------------------|-----|-------|
| 1 | 主語 | 述語 |
| ① 雲が | | 大きい |
| ② だれも | | いなかった |
| ③ なったのは | | 弟です |
| ④ × | | うなずいた |
| ⑤ バスは | | 来るよ |
| 2 | 修飾語 | 種類 |
| ① 新しい | | A |
| ② さつと | | B |
| ③ めずらしい | | A |
| ④ たいへん | | B |
| 3 | | |
| ① また | | |
| ② あるいは | | |
| ③ 疲れたので | | |
| 4 | | |
| ① イ | | |
| ② エ | | |
| ③ ア | | |
| ④ ウ | | |
| 5 | | |
| ① (主語) クラスは (述語) 楽しんだ | | |
| ② 私たちの | | |
| ③ 雨なので | | |

名前

年 組 番

解説

- 1** 述語は文末に置かれることが多いので、述語を先に探し、それに対応した主語を探すとよい。また、主語、述語ともに省略される場合があるので注意する。
- ② 「いなかった」のはだれか。↓「だれも」
- ③ 何が「弟です」なのか。↓「なったのは」
- ⑤ 主語と述語の位置が入れかわった倒置の文である。
- 2** 修飾語と被修飾語の意味のつながりを確認する。被修飾語が体言(名詞)なら連体修飾語、用言(動詞・形容詞・形容動詞)なら連用修飾語である。
- ① 「新しい↓体育館が」とつながる。
- ② 「さつと↓吹き渡った」とつながる。
- ③ 「めずらしい↓犬を」とつながる。
- ④ 「たいへん↓質素に」とつながる。
- 3** 接続語には、接続詞による接続語(①・②)と、原因・理由・条件などを示す文節からなる接続語(③)がある。
- 4** 独立語は、他の文節と係り受けの関係を持たない、独立した文節である。独立語の働きは、文の意味を考えて見分ける。
- 5** ① 述語「楽しんだ」の主体を示す主語は「クラスは」である。
- ② 名詞の「クラス(は)」を修飾している。
- ③ 理由を示す接続語である。